## 【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

<u>レジメン番号</u>: SCLC-118

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠							
小細胞肺がん	Durvalumab + CDDP/ETP	21日間	4+αコース	■ 進行/再発 □ 術後補助化学療法 □ 術前補助化学療法 □ 放射線併用化学療法 □ その他	高	Lancet 394: 1929-39, 2019							

	薬品名	投与量	投与 経路	投与時間		Day																				
	***************************************	上でして	経路	時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 1:	2 1	13 14	4 1	5	16	17	18 19	9 20 :	21		
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	1																					
2	イミフィンジ	1500mg/body	点滴静注 60分	60分	1																					
	生理食塩液	100mL	W/191017T		•																					
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	1																					
	デキサート	9.9mg	点滴静注																							
	アロカリス	235mg		30分	1																				\ /	/
4	パロノセトロン	0.75mg	州四时工	00/3	•																					
	生理食塩液	50mL																								
	デキサート	6.6mg	点滴静注	15分		1	1																			
	生理食塩液	50mL	W/191017T	10/5		•	•																			
6	エトポシド	100mg/m²	点滴静注 60:	60分	1	1	1																		V	
9	5%ブドウ糖液	500mL	W/191017T	00/3	•	•	•																		$\wedge$	
6	硫酸Mg	8mL	点滴静注	60分	1																					
	フィジオ70	500mL	WW-913-7-		•																					
7	マンニトール	300mL	点滴静注	60分	1																					
8	シスプラチン	80mg/m²	点滴静注 60分	60分	1																					
	生理食塩液	250mL	W/191017T		•																				\ \ \	\
9	フィジオ70	500mL	点滴静注	60分	1																					
10	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分		1	1																			
	上記4コース施行後、	下記維持療法を4	週毎に施行	(病勢増悪	まで)	(5)																				
1	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	1																					
2	イミフィンジ	1500mg/body	点滴静注	60分	1																					
	生理食塩液	100mL	WWINDHATT		•																					
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	1																			/		

## <注意事項/備考>

- ✓ スケジュール: 4コース施行後、PDや毒性による中止まで、Durvalumab単剤を継続
- ✔ Durva: 院内マニュアルに基づいて、治療開始前、投与中(定期的)、症状発現時の検査が必要
- ✓ ETP:調製時間に注意(調製後、長時間放置にて結晶析出)
- ✓ CDDP: 腎毒性軽減目的にMg投与
- ✓ CDDP:アミノグリコシド系抗菌薬の併用で腎機能障害のリスク増大。尿量、体重の変化に注意し、必要に応じて利尿薬などを検討
- ✓ 聴力障害(CDDP):総投与量300mg/ml以上で高音域の聴力低下、耳鳴りなどの発現↑